

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 人間関係とコミュニケーション | いじめ対処法②

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

いじめ対処法②

いじめ被害者への対応

いじめを受けている被害者もさまざまだ。しかしどんなタイプの被害者であっても、いじめによるダメージは残る。さまざまな被害者像を想定しながら、その対応を考えていきたい。

いじめの被害がはっきりしているのに、被害者が認めない場合

- ①友人関係の場合、悪者をつくらぬような決着をさせる
- ②対応は、メリット・デメリットを検討させ、本人に意思決定に参加させる

いじめをされていることに気が付かない場合

- ①被害者の受け止め方は変えない
- ②周囲の受け止めに伝え、必要なことは何かを考えさせる

過去にいじめをしたことがあり、反撃されている

- ①自業自得であっても、つらいものはつらい
- ②前のいじめの責任を一緒に負って、一緒に解決方法を考える

訴えている内容が一方的で事実と違う場合

- ①事実にかかわらず、感情は受け止める
- ②自分自身のできる行動について検討させる

過度に敏感であると感じられる場合

- ①感度の違いを理解する
- ②安全で安心できる場所をつくる

嫌と言えず、嫌なことを押しつけられている場合

- ①断ることの大切さを教える
- ②実際に断り方を考えさせ、練習させる

自分が悪いと思いきこんでいる場合

- ①本人の困ってきたことを理解する
- ②どうせ自分が悪いと思いきこんでしまう自信のなさを理解する

どうしても加害者が許せない場合

- ①許せないという気持ちを100%受け止める
- ②言えなかった悔しい思いを言葉にして出させる

どうしても親に知られたくないと訴える場合

- ①親に対する不安を受け止める
- ②みんなで支えることを約束する

加害者から離れようとしめない場合

- ①話しかける相手をローテーション化させる
- ②人間関係を広げる支援をする

被害者の言動が周りの反感や怒りを買いやすい場合

- ①長所を伸ばして短所をカバーする

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

②次のクラスでもうまく過ごせるようにという意識をもたせる

いじめが解消しても体調不良や不登校が続く場合

- ①心の中で続く不安を受け止める
- ②スモールステップで居場所を増やす

いじめ被害の内容を口に出せない場合

- ①無理に屈辱感を再現させない
- ②大枠がわかれば、周囲からの情報を集める

死にたいと口にする場合

- ①気持ちを否定せずに思いを吐き出させる
- ②自分を支える存在に気づかせる

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.